

調理室便り

みなさん、こんにちは！調理場からです。
今回は、繊維たっぷりの「野菜のミートドリア」を紹介したいと思います。野菜嫌いな入所者のみなさんからも、好評価をいただいた一品です。

～材料～（一人分）

- ・ご飯…170g
- ・合挽き肉…40g
- ・ごぼう…20g
- ・人参…20g
- ・玉ねぎ…20g
- ・にんにく…1g
- ・オリーブオイル…1g
- ・トマト缶…20g
- ・コンソメ…1.5g
- ・上白糖…3g
- ★ 塩コショウ…少々
- ・ピザ用チーズ…10g
- ・グリーンピース…3g
- ・パン粉…3g
- ・バジル…少々



～作り方～

- ①ごぼう、人参、玉ねぎをみじん切りにする
- ②フライパンでオリーブオイルとニンニクを炒めたら、合挽き肉と①の野菜を炒める
- ③②にある程度火が通ったら、★の調味料を加え、味を整えつつ煮込む
- ④ご飯をお皿に盛り、③のミートソースをかけ、チーズ、グリーンピース、パン粉、バジルを乗せ、オーブンで加熱する
- ⑤④のチーズが溶け、焦げ目がついたら完成！

新任職員紹介



藤本知彦
（副施設長）

皆様こんにちは。8月16日に入職しました藤本知彦と申します。前職は製造メーカーの経理/経営企画を20数年勤めて参りました。よって全く違った業界からこの福祉の世界に飛び込んできたため、入職以来勉強の日々を過ごしております。少しでも早く皆様のお役に立てるように日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



二上達也
（指導員）

8月に入職しました。精神保健福祉士であり、アルコール依存症の本人です。福祉の仕事は初めてなので、分からない事ばかりですが、これまでの仕事の経験を活かし、人とのかかわりを大切にしていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は広報誌「風の彩り」をお読みいただきありがとうございました。今年も、真和館の取り組みや入所者の方々の学習会の様子やミーティングの様子などをお伝えして行きたいと思っております。引き続き、「風の彩り」を宜しくお願い致します。

<編集責任：田上>



発行：社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館
 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
 TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
 E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
 HP:http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

真和館だより 第24号



社会福祉法人致知会の公益的な取り組み
 ～真和館・あそ上寿園の地域向けアルコール学習会～



施設長 藤本和彦

明けましておめでとうございます。令和と改元されて初めての新年を迎えます。役職員一同、新たな年に向け、精一杯の精進・努力を致す覚悟でおりますので、行政・支援団体・病院・自助グループ等のみなさまには、変わらぬご支援・ご協力をよろしく、お願い申し上げます。

さて、改正社会福祉法に、「社会福祉法人は、日常生活又は社会生活上の支援を必要とするものに対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するように努めなければならない」という「公益的な取り組み」の条文（第24条2項）が入りました。

そこで、私ども社会福祉法人致知会では、定款に「①アルコール依存症に対する相談・支援、②生活困窮者に対する相談・支援、③生活困窮者に対する無料・低額での宿泊支援」を謳い積極的な取り組みを行っています。特に、社会福祉法人致知会が経営する2つの施設（救護施設真和館・養護老人ホームあそ上寿園）は、アルコール依存症や精神障がいに関与する施設であります。

今回は、その特色を生かし、最近始めた取り組みを紹介させていただきます。

その一つは、アルコールに関する「地域セミナー」であります。申し上げるまでもなく、お酒は私たちの生活に豊かさや潤いを与える一方、不適切な飲酒は、本人の健康問題のみならず、飲酒運転、暴力、虐待、自殺などの様々な問題にも密接に関連します。

そこで、社会福祉法人致知会（真和館・あそ上寿園）は、アルコールに関する理解の促進を図るために、31年3月19日に阿蘇市の民生委員や区長を始めとした地域の方々やアルコール依存症の当事者、さらには、阿蘇地域の行政機関や公的機関の支援者の方に対して、「アルコール依存症を理解する・支える」と題して「第1回地域セミナー（61名の参加）」を開催しました。お陰様で、大変、盛り上がった研修会になりましたので、令和元年度は時期を早め、11月27日に「第2回地域セミナー（51名の参加）」を開催したところです。

今年度も、参加者のみなさんから、このような研修会は、大いにやるべきだという力強い励ましの言葉を沢山いただきました。

今一つは、アルコール依存症や断酒に関する基礎的なことが学べる「アルコール依存症学習会（毎回平均10名前後の参加）」を、令和元年9月28日（土）を皮切りに、その後、毎月、第4土曜日（午後2時～3時）に、あそ上寿園で定期的に開催しています。お酒に問題のある方は勿論のこと、ご家族や支援者の方、どなたでも気軽に、ご参加いただける勉強会です。一度、是非「のぞいて」みてください。（2ページに続く）



社会福祉法人致知会の公益的な取り組み(その2)

～真和館・あそ上寿園のアルコール依存症への取り組み～

ところで、企業経営の目的は、利益を上げることではなく、企業を永続させることにあります。ましてや、私ども致知会は、利益の分配をしない社会福祉法人であり、運営する施設は、「第一種社会福祉事業」であり、しかも、施設の種類は「救護施設」と「養護老人ホーム」という、措置施設であります。

そこで、社会福祉法人致知会は、これらの哲学を基本に据え、アルコール問題に強いという特色を生かし、次のような社会貢献もしています。※生活困窮者への公益的な取り組みは次号で特集予定

①お酒の悩みごと相談

アルコール依存症は、否認の病気ゆえに相談に結び付けるのが、なかなか困難ではありますが、放っておけば、本人の状態は日々深刻化するばかりであります。そこで、本人・家族・関係機関などからお酒にまつわる相談を幅広く受けています。

②お酒に関する出前講座

民生委員、アルコール関連団体、企業、保健指導機関、学校等が開催されるお酒に関する講演会や研修会に無料で講師を派遣します。

③エスパーツ(SBIRTS)の推進

アルコールのスクリーニングテストを実施し、問題飲酒者には簡易介入を行い、依存症の疑いがあれば専門医に繋ぎ、そこから、自助グループに繋ぐことにより、アルコール依存症から回復して行く一連の方式をエスパーツと言います。

そこで、アルコール依存症者が1日も早く専門治療や自助グループに繋がり、アルコール依存症からの回復に向けた取り組みをして頂くよう当事者及びご家族の支援をしています。

なお、公的機関等でアウトリーチを計画され、公的機関の人材のみでは、支援が困難な場合は、致知会職員を派遣し、アルコール専門病院や自助グループへ繋ぐお手伝いもさせていただきます。

④アルコールに関する地域セミナーの開催（前ページで記述のため省略）

⑤「アルコール学習会」の開催（前ページで記述のため省略）

⑥「アルコール依存症者支援手法研修会」の開催

近年、福祉施設においても、入所者の中かなりのアルコール依存症者がおられ、その処遇に困惑されている施設も少なくありません。

そこで、真和館が持っているアルコール依存症者に対する処遇の技術やノウハウを広く公開するために、平成元年度から「アルコール依存症者支援手法研修会」と称して、希望される施設の職員に対して研修を実施しています（研修をご希望の施設は、ご相談ください）。

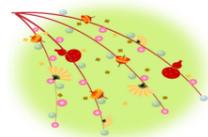
ところで、社会福祉法人致知会は、平成30年3月までは、1法人1施設という法人形態でしたので、法人に対する意識が薄く、施設である救護施設真和館の基本理念は有りましたが、法人の基本理念はありませんでした。

そこで、社会福祉法人致知会では、令和という新しい時代が始まるにあたり、社会福祉法人致知会の役職員が、さらに精進努力をし、繁栄をして行くために、「社会福祉法人致知会基本理念」を定めることに致しました。



「社会福祉法人致知会基本理念」

致知会は社会福祉法人である。
社会福祉法人であるからには、



- 一 社会福祉事業の主たる担い手として、世のため・人のためになる事業（社会貢献）をしなければならない。
- 二 提供するサービスは、創意と工夫を凝らした質の高いもので、利用（入所）希望者や関係者から選ばれるものでなければならない。
- 三 経営は、透明性が高く、利用者（入所者）・職員・利害関係者から信頼されるものでなければならない。

以上のつとめを果たすことにより、
社会福祉法人致知会と職員は、永遠に繁栄する。

季節の花見学



<大分くじゅう花公園見学>

令和元年5月21日実施。年号が令和に変わって間もない頃に行われた花見学でした。真っ青な晴天の花公園に用意してあった「令和」の盾でパチリ。



山登り



<サントリー天然水の森阿蘇>

令和元年5月27日実施。阿蘇郡西原村から上益城郡益城町へと広がる約170haの国有林の中を歩きました。



紅葉見学



<南阿蘇紅葉見学>

令和元年11月29日実施。グリーンロードから俵山のスキュードは格別の絶景でした。

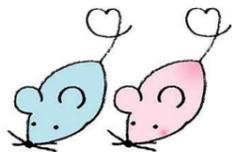
秋の旅行(一泊旅行)



<鹿児島方面 1泊2日の旅行>

令和元年12月3日～4日実施。照国神社、城山散策、平川動物園、桜島周遊等、盛り沢山の楽しい一泊旅行でした。

- 『良いと思うこと』（28件）
- ・90%慣れて生活しやすくなった。こういう施設だと思っているので割り切りが肝心。良いケアだと思うし、来て良かったとも思います。特に希望はありません。
 - ・ここは良か。家ではうるさくて怒られてばかり。ずっと居ろごた。でもうるさく言う人もいるもんな。しょうがなかばってん。
 - ・今の生活は満足しています。掃除もしてラジオ体操もして自彊術もして満足しています。てんかん発作も出ていません。卓球バレーの練習もかたっていました。今はしていません。今から掃除も自彊術もラジオ体操もします。〇〇病院のデイケアも行ってハンドベルもして満足しています。
 - ・ここに死に場があるので安心してます。自分の帰る場所はありません。
 - ・真和館入所中は嫌だったけど、現在〇〇病院入院中で、比べてみたら真和館での生活がどれだけ良かったかを痛感しています。一日も早く真和館に戻りたいです。お願いします。
 - ・こんなにいい所はないです。色々なことを教えてもらっています。
 - ・真和館に入所してまだ不慣れな部分があります。ここでは食事会にいけますし又色々な所に旅行ができます。ここは個人の自主性を大切にしてください。そのいい例が部屋は個室を与えてくれますし人から指図をされずに自分から行動をするところだと思います。
 - ・今の生活はとても良くて穏やかな生活を送っています。
 - ・私には、とって合っていて皆様からよくしてもらって嬉しく思っています。すばらしい真和館にであえて良かったです。今のところ希望等はありません。今後ともよろしくお願い致します。
 - ・〇〇先生にメールを送って真和館に居させて欲しいと頼んでいます。希望はありません。
 - ・施設の種類、職員ともに良いと思います。プログラム等もちょうどいいサイクルだと感じます。
 - ・スポーツ大会が楽しい。
 - ・過ごしやすいです。卓球バレーも楽しいです。
 - ・毎日楽しく過ごしています。幸せです。満足しています。（他 15件重複）
- 『悪いと思うこと』（3件）
- ・もっとよくして（親切にして）ほしい。色々してほしい。
 - ・あまり良くない。
 - ・買い物予定表の呈示がもう少し早くなればもっと予定の立て方があると思うのですが！！
- 『食事』（8件）
- ・もっとおいしいものを食べさせてください。
 - ・給食がもう少しおいしかったらよかったなあ。
 - ・人参が苦手です。
 - ・刺身が食べたい。
 - ・飯の量が少ない。おかずはおいしい。
 - ・食事メニューが三度三度ちがうメニューで文句はありません。
 - ・食事もおいしくいただいています。（他 1件重複）
- 『出て行きたいこと』（4件）
- ・私の実家（現在は娘がいます）に一度帰りたいと思います。13年間一度も帰ったことがなく一度帰して下さい。他に何もありません。
 - ・施設長へ もう私は真和館に入所して5年を過ぎましたので他の施設に移りたいです。グループホームでもよいのでさがしてください。早く替わりたい。お願いします。
 - ・早くここを出たいです。
 - ・きつい。兄ちゃんのとこに戻りたい。
- 『個別』（25件）
- ・真和館にお世話になって1年7ヶ月（居宅生活7ヶ月）。私はアルコール依存症で入所したので、その関連プログラムがかなり多いです。ちなみに今月11月は何も予定が入っていない日は3日だけです。何もする事がない日々を送るよりましだと思いますが、雑な日々の送り方にならない様注意したいと思っています。また、今年は鹿児島での集中内親を経験出来、体の面では大腸ポリプ切除、また十二指腸潰瘍（治療中）とお世話になり、先月からは私が生活を目指す〇〇での地域断酒会にも参加させてもらって有難いと思っています。
 - ・私は都会派の住み方が合った人間なので、いずれ近い将来、〇〇市に帰りたいと思っています。一時的にせよ住居を借りなければ、今の状況では（真和館に入所の状況）ではとても可能ではありません。只今出来る準備はやっているつもりです。真和館には、かなり永年お世話になっていますが、真和館施設長様始め職員さんもとても良い方ばかりで特に良い方もいらっしゃいます。何も不満や不自由は有りません。大変良い生活状態です。
 - ・最近あまり調子よくないけど、ここでしばらく頑張ってみます。
 - ・真和館の生活は普通で特に希望もありません。
 - ・この施設に対して多大な迷惑をかけてきたのに職員さん達の他の人達と一応に接してもらい、有りがたいことだと思っています。他の入所者の方にも良くしてもらって相談をされたりして、有りがたい施設だと思っています。こんな私が自分自身の希望はありませんが、この私でも1つだけ言えるとしたら前にくらべミーティングがちょっとだけ多いように思います。前の方が良かったし作業も集中して出来るように思います。
 - ・もしよければ今度の担当職員は〇〇さんをお願いします。夜に〇〇のAAに行きたいので金曜日のAAに行けるようお願いします。
 - ・規則が段々難しくなりましたが、楽しい本を読んだりしています。
 - ・別になんともない。もうちょっとタバコのすう時間を長くしてください。
 - ・何もかんもいかん。銭ばあげてくれ。
 - ・よければ支給金を少し上げてほしいです。
 - ・普通です。良くもなく悪くもないです。〇〇さん・〇〇さんとトラブルがあったので東側の部屋に移りたいです。
 - ・プログラムが多すぎる。去年は自分にとってすごく良かったですが今年は何か物足らなかったです。
 - ・住み心地はあまり良くない。面白くない。希望はミーティングを減らしてほしい。
 - ・まあまあと思います。自転車乗りたい。（特にない：7件の重複、その他の思い：3件）



入所者アンケート

真和館では毎年10月に入所者の皆さまにアンケートをしています。

Aさんの酒歴発表

入所者Aさんがこれまでの自分を振り返り、地域の断酒会で酒歴発表をされたので、その内容を掲載させていただきます。

私は現在35歳です。阿蘇郡西原村にある社会福祉法人致知会 救護施設 真和館という施設で生活しています。今年7月に〇〇病院を退院して以後、お世話になっています。

私は〇〇郡〇〇町出身で、ごく普通の家庭で育ちました。初めての飲酒・喫煙は高校生の頃です。専門学校に進学した頃パチスロに出会い、ハマりました。せっかく貯めたバイト代はおろか、奨学金にまで手を付け、使い込みました。

私は複数の依存（症）や嗜癖（アディクション）を持っていますが、思えばこれらの始まりはこの頃ではなかったかと思えます。

20歳で社会人になってから、仕事は真面目でしたが、ギャンブルや飲酒が深まるにつれ増えていく多重債務の返済に日々悩んでいました。この苦しみを紛らわすために酒量が増えました。その頃の酒量は一日5合から1升くらいでした。

25歳の時、借金の事は伏せて結婚しました。ギャンブルやアルコールを制限しようとする妻やその親が、邪魔で仕方ない存在でした。子どもですら、いなければ良いと思ったほどです。その後、飲酒運転で事故を起こし捕まります。残ったのは新車のローン、罰金、免許取り消し、解雇等々…。次第に連続飲酒となり、震えを始めとした身体の不調が現れ始めました。身体を上手く動かす事ができないため再就職の履歴書も書けず、何とか就職できても欠勤ばかりでした。借金、離婚、飲酒運転、解雇、離れてゆく友人や親族、そして止められないギャンブルとアルコール、見えない将来と恐怖。死にたいと思っても死にきれませんでした。そうこうする中で母親からは縁を切られました。ある時ふと、携帯に目をやると、母親からのメールが着信していました。そこには電話番号を変え引越す、というメッセージと共に「もう私を解放して、もう私を苦しませないで、もう私に付きまとわないで」という文字が冷たく光っていました。その間、4回ほど入退院を繰り返しました。次第に周りに身を任せ、無気力で自分自身の人生に無関心になっていきました。そして真和館へ入所する事となります。

真和館のプログラムの一環で断酒会やAAに行く機会があります。そこでは、全てを悟ったかのように断酒を貫いている方がおられます。その方々いわく、とにかく騙されたと思って断酒をする。すると何年かしてようやく分かってくる、どれだけ断酒が素晴らしいものであるか、小さなことが喜びに変わっていくと言われます。私はその境地に到達できるのでしょうか。現在の私にはわかりません。あんなに心地いいものを止められる人がすごいと思います。それらを理解することがこれからの課題です。

併せてこれからの自分を考えた時に、未来の自分が後悔しないためにはまさに、今ここで自分が変わり、真和館という施設を最大限に活用し、立ち直り、上がっていくべきであると思えます。ただ、日々の生活の中でこれは、とすれば忘れがちになりますし間違っている時はその間違いに気づかないとも言います。次第にまた墮落し、甘えが出ます。したがって今は、毎日毎晩自分を諫めることと、急ぎ過ぎず、未来のために今やれることをやる、恐らくそれしかないと思えます。

真和館での生活は断酒の学習が整った生活です。何年間ここにいるのか分かりませんが、自身、出来るだけ早く退所して自立したいと思っています。なぜ酒に走るのか、その根の部分を探り出して処理しないとイケません。また、例会などで色々な人の話を聞いて気づきを掴みたいです。断酒の決意をするという所まで、いけるか分かりません。「スリッパし、連続飲酒になるパターンを断ち切りたい」と言いたいところですが、現段階では「連続飲酒にならないようにしたい」とまでしか、今は言えません。それが本音です。今、まさに人生の岐路、正念場だろうと思えます。

現段階ではまだこのレベルです。今後の人生をどうするかは自分次第です。自分で切り開くしかありません。今、与えられたチャンスをどう生かすかは自分の行動次第だろうと思っています。

真和館 アルコール依存症回復プログラム（ARP）

令和元年10月1日策定（改訂3版）

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
I	断酒の誓い	断酒の誓い斉唱（毎朝9時） 1. 私たちは酒に対して無力であり、自分ひとりの力だけではどうにもならなかったことを認めます。 1. 私たちは断酒例会に出席し、自分を率直に語ります。 1. 私たちは酒害体験を掘り起こし、過去の過ちを素直に認めます。						1. 私たちは自分を改革する努力をし、新しい人生を創ります。 1. 私たちは家族はもとより、迷惑をかけた人たちに償いをします。 1. 私たちは断酒の歓びを、酒害に悩む人たちに伝えます。					
	タベの集い	12のステップ斉唱（毎夕17時10分） ステップ1 「私たちはアルコールに対し無力であり、思い通りに生きていけなくなっていたことを認めた」 ステップ2 「自分を越えた大きな力が、私たちを健康な心に戻してくれると信じるようになった」 ステップ3 「私たちの意思と生きかたを、自分なりに理解した神の配慮にゆだねる決心をした」			ステップ4 「恐れずに、徹底して、自分自身の棚卸しを行い、それを表に作った」 ステップ5 「神に対し、自分に対し、そしてもう一人の人に対して、自分の過ちの本質をありのままに認めた」 ステップ6 「こうした性格上の欠点全部を、神に取り除いてもらう準備がすべて整った」 ステップ7 「私たちの短所を取り除いて下さいと、謙虚に神に求めた」			ステップ8 「私たちが傷つけたすべての人の表を作り、その人たち全員に進んで埋め合わせをしようとする気持ちになった」 ステップ9 「その人たちやほかの人を傷つけない限り、機会あるたびに、その人たちに直接埋め合わせをした」 ステップ10 「自分自身の棚卸しを続け、間違ったときは直ちにそれを認めた」			ステップ11 「祈りと黙想を通して、自分なりに理解した神との意識的な触れ合いを深め、神の意志を知ること、それを実践する力だけを求めた」 ステップ12 「これらのステップを経た結果、私たちは霊的に目覚め、このメッセージをアルコールに伝え、そして私たちのすべてのことにこの原理を実行しようと努力した」		
II	ミーティング	真和館アルコールミーティング—司会は職員が行い、アルコール依存症の回復のプログラムであるAAの「12のステップ」を学び、テーマミーティングを行います。（毎週水曜日 10時15分～11時30分）											
		アルコールメッセージミーティング—司会はAA城北グループの方が行き、AAのミーティングハンドブックを使いテーマミーティングを行います。（第1・3火曜日 10時15分～11時30分）											
		アルコール特別ミーティング—司会は入所者が行き、AAミーティングハンドブックの読み合わせとテーマミーティングを行います。（第4火曜日 10時15分～11時30分）											
		しらゆりの会ミーティング—司会は入所者が行き、AAミーティングハンドブックを使ったテーマミーティングや冊子の体験談を読み合わせします。（毎週木曜日 10時15分～11時30分） <small>（資料：BOX916・AA日本ゼネラルサービス版、夜明けまでの長い旅Ⅲ・全日本断酒連盟版、Be!「アスク・ヒューマンケア」版）</small>											
III	学習 1（導入）	HAPPYプログラム（国立病院機構肥前精神医療センター版） ※入所後、アルコール依存症であることを認めてもらうための学習会			自助グループからのメッセージ ※随時（AA矯正小委員会メッセージ等）			アルコール依存症学習会（場所：あそ上寿園） （毎月第4土曜日14時～15時）			アルコール地域セミナー （阿蘇市で毎年12月に開催）		
	学習 2（知る）	DVD学習（アルコール依存症や依存症関連）			映画学習（アルコール依存症や依存症関連） （毎週月曜日10時15分～11時30分）			テキスト学習（アルコール依存症を知る）					
	学習 3（グループワーク）	アルコール依存症再発防止プログラム（※満晴明病院版） （毎週金曜日 13時～14時）						SMARPP「薬物・アルコール依存症からの回復支援ワークブック」 （毎週金曜日 13時～14時）					
	学習 4（カウンセリング）（内観）	30分間ラポール（カウンセリング） （随時） ピアカウンセリング （随時）			一日内観（1ヶ月に1人2回、4ヶ月実施） ※第3土曜日 9時30分～10時 オリエンテーション 10時15分～16時30分 内観（2時間毎に面接）			日常内観（一日内観と並行して実施） 日記内観を静かな空間で毎日15分程度実施 1週間に1度職員による振り返り面談			集中内観（7泊8日） 指宿竹元病院又は三和中央病院で実施される 7泊8日の集中内観に派遣 内観懇話会（九州、熊本）		
	学習 5（生きる力を養う）	森田療法 （随時）			心みがきの読書会 （毎週木曜日10時15分～11時15分）			心の健康教室 （毎週月曜日13時30分～14時30分）			心みがきの講演会 （年4回講演会のうち、アルコール関係講演会を年2回実施）		
	学習 6（個別学習）	薬物依存症（毎週木曜日）						買物依存症（随時）			クレプトマニア（随時）		
IV	外部の自助グループ等への参加	KUMARPP（熊本県精神保健福祉センター） 各断酒会への参加（集まる会（人吉）・八代、アメシストの集い） 各AAグループへの参加（AA熊本手取グループ、AA肥後大津グループ、AA健軍グループ）											
	外部の大会・学習会への参加	熊本県アルコール関連問題学会 熊本県精神保健福祉センター講演会 熊本市こころの健康センター講演会 熊本県アディクションフォーラム 熊本県断酒友の会 人吉・球磨合同断酒会 益城病院院内断酒会 益城病院東部例会 菊陽病院院内断酒会 菊陽病院OB断酒会 AA九州・沖縄地域ラウンドアップ AA熊本地区オープン・スピーカース・ミーティング AA健軍グループ青空ミーティング											
V	クロスアディクション対策	真和館薬物ミーティング—司会は入所者が行き、NAの書籍の読み合わせとテーマミーティングを行います。（毎週木曜日 15時～16時）											
		真和館ギャンブルミーティング—司会はGA熊本グループの方が行き、GAのミーティングハンドブックを使ったテーマミーティングを行います。（第2火曜日 10時15分～11時30分）											
		心のオアシスタバこの会（毎月1回） KUMARPP（毎月第2・第4火曜日） 熊本ダルク 熊本ダルク家族会 NA WRAP 行動変容グループ GA熊本グループ											
VI	併存障がい対策	依存症の方で併存した障がいをお持ちの方に対して、各人の障がい（発達障害・知的障害・双極性障害・統合失調症等）に応じた学習会、高機能自閉症・アスペルガー当事者の会シェアハート											
VII	居宅生活訓練等	地域生活に向けアパートで居宅生活訓練を実施する（1年～2年）						訪問指導事業（退所者のサポート・不定期）					